

0・1歳

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生理的欲求をみだし、睡眠や授乳の生活リズムを安定させる 一人ひとりの発達に合わせた離乳を進め、食べる意欲を育てる 			
期	5～6か月頃 初期（1回食）	7～8か月 中期（2回食）	9～11か月頃 後期（3回食）	
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ゆったりとした気持ちで授乳する。 一人ひとりの子どもの状態に応じて離乳を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの状態に応じて離乳を進める。 		
食に関する子どもの姿	食べ方	口唇を閉じて飲みこみができるようになる。	舌、あごの動きが前後運動から上下運動に移行し、食べ物を押しつぶして食べることができるようになる。	舌が前後、上下、左右に動くようになり、舌で食べ物を歯茎にのせ、歯茎でつぶすことができるようになる。
	口腔	唾液がでる。	前歯が生え始める。	前歯が生え揃う。
	食事の様子	離乳食の舌ざわりや食感に慣れ、上手に飲み込めるようになる。	食欲はその日の体調や気分によって違い、身体の大きさによる個人差も大きい。	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の種類や量が増える。 手づかみで食べようとする。
連携	保育	<ul style="list-style-type: none"> 抱っこして優しく言葉をかけながら、安心して飲めるようにする。 身体と首の角度に注意する。 下唇の中心にスプーンをのせ、口唇が閉じてからスプーンを引き抜くように食べさせる。 身体の発達に合わせたさまざまな動きを経験できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して食べられる雰囲気大切に作る。 「あーん」「ごっくん」「もぐもぐ」「おいしいね」等の言葉をかけ、食べる意欲を大切に作る。 舌の前方部で食物が取り込めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食前、食後のあいさつをする。 噛んで、つぶして飲み込むことを知らせていく。 食べたいという気持ちを受け止め、手づかみで食べることを大切にし、自分で食べようとする意欲を育てる。
	栄養士		栄養のバランスを考慮する。（主食・主菜・副菜）	
	調理	味付けなし	<ul style="list-style-type: none"> 個に合わせて調理の形態を工夫する。 個人差を考えて盛り付ける。 子どもの食べる様子を見る。 	手づかみしやすい形に食材を切る。
	形態	なめらかにすりつぶした状態 ポタージュ位の状態	舌でつぶせる固さ 豆腐位が目安	歯茎でつぶせる固さ 指でつぶせるバナナ位が目安
家庭や地域への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの大切さを伝える。 身体の発達について伝える。（寝返り、ずりばい、ハイハイの大切さなど） 連絡ノートにより子どもの育ちを共有する。 哺乳については、保護者の意向を大切にしながら進める。 ベビーフードの活用方法、注意点を伝える。 初めて食べる食品は、少量ずつ与え様子を見るように伝える。 食品の確認をし、離乳をすすめる。 		<ul style="list-style-type: none"> 水分補給の大切さを伝える。（お茶・白湯等） 手づかみで食べる大切さを伝える。 	
発達の日安	<ul style="list-style-type: none"> 首がすわる。 手を口にもっていたりする等、手足の働きが活発になる。 顔を見つめて笑う。 喃語がでる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人座りができるようになる。 つかむ、叩く、引っ張る等、手足を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> つかまり立ちができる。 親指と人差し指を使って物をつかむ。 大人のまねをする。 顔を見分ける。（人見知り） 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で歩けるようになる。 イスに座る。 身の回りにあるものを触ったり、叩いたり転がす。 身近なものに対して関心を示す。 保育者の語りかけに片言で応える。
子ども家庭課事業	<ul style="list-style-type: none"> 6か月児健康診査（個別） ハッピー育児会、ステップアップ離乳食講座、すこやか育児相談、保育園・幼稚園食育教室、健康教室 			<ul style="list-style-type: none"> 10か月児健康診査

<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを整える 自我の芽生えを大切にし、自分で食べようとする意欲を育てる 	
12～18か月頃 完了期	18～24か月頃
よく噛んで食べようとする。	<ul style="list-style-type: none"> こぼしながらも一人で食べようとする。 よく噛んで食べる。 身近な人や友だちと一緒に食べることを喜ぶ。
<ul style="list-style-type: none"> 舌が自由自在に動くようになり、歯や歯茎で噛んだりつぶしたりして食べる。 自分の一口の量を前歯で噛みとる。 	
奥歯が生え始める。	
<ul style="list-style-type: none"> 1日3食とおやつを決まった時間に食べる。 食べ物の種類が増え、いろいろな味を経験する。 好きな食べ物が少しずつ増えていくが、嫌いな食べ物も出てくる。 こぼしながらも手づかみやスプーンを使って意欲的に食べようとする。 一緒に食べる人（父母・保育者・友だち）に関心を持つようになる。 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。（エプロンをつける、口をふくなど） 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物に関心を持つようになる。 自分で食べようとする。 食事を楽しみに待つ。 スプーン、フォーク等を使って食べる。 皿をささえて食べられるようになる。 遊び食べをするようになる。
<ul style="list-style-type: none"> 自分で食事の準備をしようとする気持ちを大切に作る。 自分で食べようとする気持ちを大切に作る。 よく噛んで食べるよう言葉がけをする。 	
<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で「おいしいね」等の言葉がけをしながら、嫌いなものでも無理なく少しずつ食べられるようにする。 食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭いたり、洗ったりして心地良さを知らせる。 	
	保育士と一緒に食べる機会を設ける。
食べやすい切り方、色どり、盛り付けを工夫する。	
薄味で調理する。	
歯茎で噛みつぶせる固さ 肉団子位が目安	誤嚥・窒息事故予防に配慮する。
<ul style="list-style-type: none"> 1日3食とおやつを決まった時間に食べることの大切さを伝える。 生活リズムの大切さを伝える。（早寝早起きおいしい朝ごはん） 家族そろって食べる大切さを伝える。（マナー・会話など） 噛み切ったり、噛んで食べることを経験させるように伝える。 集中して食事ができる環境を整えることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさん食べたり喜んで食べる姿等を家庭に伝える。 誤嚥・窒息事故予防について伝える。
<ul style="list-style-type: none"> 積み木を1～2個積みむ。 会話ができる。 簡単なあいさつの動作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積み木を3～4個積みむ。 自分から席に着く。 ままごと遊びをする。
<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児健康診査 	